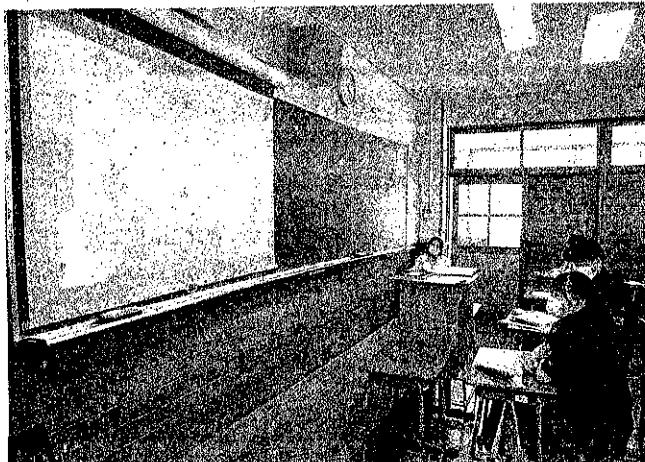


10月の「諏実タウン」向け 生徒が接客マナー学ぶ



諏訪実業高校の全日制全クラスの生徒約400人は19日、各教室で接客時の身だしなみを解説する映像を視聴し

10月の「第9回諏実タウン」を前に、全校で接客マナーを学ぶ諏訪実業高校の生徒ら。接客時の身だしなみを解説する映像などを視聴した

タウン」を前に、全校で接客マナーを確認し、イベントの成功につなげようと、生徒が中止になつて製作した映像で学んだ。映像では、諏訪市内のRAKO華乃井ホテルなどを運営する諏訪湖リゾートの白鳥和美社長ら2人を講師に、生徒による模擬株式会社「SJカンパニー」社長で3年の両角龍斗さんら生徒3人が指導を受けた。講師は

清潔感のある服装を心掛けることや、口裏といった見えることにも気を配ることなど注意点を一つひとつ説明。白鳥さんは「制服姿になれば何をしていても社員。常にお客さまが見ているという意識を持つてほしい」と助言を送っていた。

視聴した生徒は真剣な面持ちでスクリーンを見つめていた。3年の笠原遼哉さんは「生徒同士で声を掛け合いながら身だしなみを正しく、諏実タウンに向け学校全体でいいムードをつくつていければ」と話した。
(小林大輝)